



# 個人情報を持つことは、 リスクを抱えることだ！

岡崎市教育委員会委員  
寺部 暁 氏

## 教育随想



平成17年6月1日

# 6月号

発行・編集  
岡崎市教育委員会

### 今月の紙面

教育随想	1
岡崎市教育委員会委員 寺部 暁氏	
この人に聞く	2
愛知県立芸術大学助教授 太田 公典氏	
羅針盤	2
小豆坂小学校長 金子 一元	
ふれあい	3
生平小 河上 咲子	
特集	4
未来の岡崎を築く 岡崎JCアクションプラン ～岡崎青年会議所～	
岡崎市の教育予算	6
お知らせ	8
フォト・ヒストリー	10
学校林活動(昭和59年)	
この本を	10

社会の変化に伴っていろいろな法律が新しく作られたり、改定されたりしております。そして、学校としてもそれぞれの法律に対してコンプライアンス体制を構築する必要に迫られております。少し前には(学校教育には馴染みにくい)消費者契約法が成立し、この法律によって学校の児童生徒は消費者として扱われることになりました。

今回取り上げるのは平成十七年度から施行された個人情報保護法であります。

この法律は、住基ネットの導入がきっかけであります。つまり、地方自治体や行政機関側で取り扱う住基ネットの個人情報が民間に漏れた場合に、個人情報を守る法律がないと困るということで、住基基本台帳法

の改正の条件として民間個人情報保護法の制定が国会で約束されたのであります。

この法律は、個人情報の収集のルールについては比較的穏やかなルールであります。しかし、個人情報の利用のルールはやや厳しいルールであり、そして、個人情報の第三者への提供は極めて厳しいルールになっております。したがって、教育を行うに当たって必要となる児童生徒の個人情報について、学校が極めて慎重に扱う必要があるということになります。

従来のひと・もの・金に対して、現在は、ひと・もの・金・情報が資産であるというように情報が付け加わっており、情報も資産であるという認識が深まっております。ただし、

資産には負債も含まれているわけで、「個人情報を持つことは、リスクを抱えることだ」という感覚を学校の先生方一人一人が持つことが大切であると考えております。

(てらべ あきら)





## 目標に向かって精一杯

愛知県立芸術大学助教授

太田 公典 氏

白磁の大皿や水差し、通された部屋にはご自身の作品をはじめ、様々な焼き物が飾られていた。

「工芸に興味を持ったのは、高校卒業後絵本の出版社に勤めていたときです。時間を見つけては、美術館や博物館などに通っていました。二十三歳のときに、もっと工芸について勉強しようと思いい、芸術大学への進学を決意しました。」

大学で教鞭きょうべんをとる傍ら、自らも作品を作り続けている太田公典氏に話



を伺った。

「焼き物の善し悪しは、色がきれいとか使いやすいとかいう観点以外に感覚的な部分が大きく影響します。その感覚は、子供のころから焼き物に興味を持って接してきた人と、そうでない人とは大きく違っています。大学に入学するまで焼き物に接する機会が少なかった自分は、その差を埋めるために、本や写真を見るだけでなく実物を何度でも鑑賞し、触ることでその感覚を養ってきました。」

また、氏は海外にまで足を運び、古窯址こようしや土の調査を行っている。

「昔は今のよう交通が発達していなかったため、その土地の材料を使って風土に合った作品が作られていました。現代は様々な土地から原材料を集めて焼き物を作ることがで

きます。それが新しい焼き物の文化になっていると思います。」

大学では、限られた四年間で学生に陶芸の基礎基本を確実に身に付けさせているそうである。

「卒業してプロとしてやっていくためには、最低限ろくろのひき方など基本的な技能が必要になってきます。何度やっても同じものが同じようにできるようなったとき、初めて自分らしさが出せるようになります。さらにはそれが、創作意欲や自信につながっていくのです。そのためには、同じことを繰り返して行つて身に付けさせていきます。」

さらに、夢を実現させるためにも大切なことについて語られた。

「その時々で目標を立て、その実現に向けて精一杯努力することが大切だと思います。自分が納得するまでやればできるようになり、可能性が広がっていきます。自分の夢が変わっても、今まで精一杯行ってきたことは必ず役に立ちます。」

チャンスを生かし、自分の力を信じて精一杯取り組んできた氏の魂が作品に宿っているように感じた。

氏名 おおた きみのり  
生年月日 昭和二十八年十月二十六日  
住所 北野町二番沢二二七一



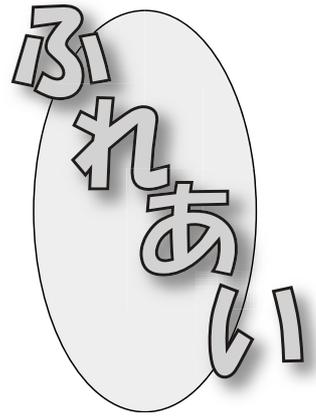
## 緊張感で収量二倍

小豆坂小学校長 金子 一元

インゲン豆のつるは、本来右巻きで上へ上へと伸びていく。これを強制的に左巻きにして育てるとどうなるか。なんと右巻きと比べ、収量が二倍になったという。数年前のことになるが、このことが名古屋大学大学院の研究室で明らかになったと、新聞報道された。

実験は、インゲン豆を三つのタイプに分けた。真つすぐに伸ばしたものは右巻きの一・五倍、左巻きにしたものは二倍だった。もちろん一個のさやの大きさや重さ自体は三タイプともほぼ同じで、つるの巻き方を自然状態と逆にするほど収量が多くなったというわけである。

その理由として、強制的な左巻きはストレス一步手前の心地よい緊張状態を生み出し、光合成など代謝系が活発化し、たんぱく質が増えたと



## 野鳥大好き

生平小 河上 咲子

「先生、セグロセキレイだよ。」

「あつ、アオジがいる。」

「アオサギだ。」

子供たちは、いろいろな野鳥を見つけたことが大好きである。でも、総合的な学習の時間のない二年生では、学校で野鳥とかかわれる時間は限られてくる。そこで、もう一歩かわりを深めるために、生活科で単元「やちよう大すき」を試みた。

一月になると、学校の裏山で給餌活動が始まる。野鳥が子供たちに最も近づく時期である。

「野鳥にどんなことをしてみたい。」と問いかけると、

「捕まえない。」

「捕まえてひなをかえしたい。」

などの声が出た。きれいな鳥を捕まえ、もつと間近で見たいようである。

そのとき、友達とかかわるのが苦手なA男が、

「捕まえてあげないんだよ。」

と、真剣な顔で反論。トカゲやザリガニ捕みの名人であり、野鳥のこともよく知っているA男の言葉をきつかけに、子供たちの意見は、もつと近くで見られるようにえさ台や巣箱作りへと変わっていった。「巣箱を作るのは難しいよ」の声にも、

「みんなやればできるよ。」

とA男は力を込めて言った。その言葉が後押しとなり、作りたいものをグループで作ることになった。

製作に入る日、A男をはじめ五人の子が金づちやくぎを持ってきていた。みんなやる気いっぱいである。

まずは、くぎの打ち方の指導である。子供たちは、真剣な目で見つめていた。そして、板を持つ子、くぎを打つ子の順番を決め、交代で作業を進めていった。くぎの長さを確かめながらやり直しをするなど、試行錯誤を繰り返しながらどのグループもえさ台や巣箱を完成させることができた。A男も、いつもはけんかになつたり、途中で意欲をなくしたりするのに、最後まで友達と協力して活動することができた。

いよいよ取り付けである。子供たちは、教室や廊下から見える裏山や

教室の南側に設置した。野鳥が自分たちの作ったえさ台に来るとうれしくてたまらない。

「ヒヨドリは、りんごが好きで、メジロはみかんが好きだよ。」

「シジュウカラがひまわりの種をくわえて行ったよ。どこで食べるのかなあ。」

「あのイカルは、お米が気に入ったんだね。ずっといるよ。」

など、いろいろなえさを置いては観察していった。残念ながら巣箱には一羽の野鳥も入らなかった。きつと、これからの野鳥の学習でその原因を見つけないときが来るであろう。

三月中旬になり、野鳥はえさ場を自然の中に求め、子供たちから離れていった。しかし、学校で家庭でと、野鳥が大好きな子供たちの観察の日々は今も続いている。



考えられる、ということである。

ある程度の苦労を重ねてこそ成長するのは人間も同じである。「かわいい子には旅をさせよ」とか「若いうちの苦労は買ってでもせよ」などという格言もある。

徳川家康(幼名竹千代)は幼少時代、駿府の今川家で、人質として育てられていた。この時今川家は、竹千代を育てる基本的な教育方針として、夏の暑いときは涼しく、冬の寒いときは暖かく、「何不自由なく育てよ」と決め、そのように甘く、大切に育てた。そうすれば、気迫あふれる武将、大軍を統率する武将としては育たないと考えたという逸話は有名である。

今はだれもが、竹千代と同じように、何不自由なく生活することが可能な時代である。皮肉にも恵まれた環境の中で、わがままに育っている。

美しい言葉遣い、礼儀正しさ、分別をわきまえた行動がとれるなど、人が人としてまともに成長するには、ストレスにならない程度の心地よい適度な緊張感が欠かせないことを、心に留めておきたい。

身勝手な事件が後を断たない、たががゆるんだような社会は真つ平である。



# 未来の岡崎を築く

## 岡崎JCアクションプラン ～岡崎青年会議所～

### ▲「あたご夢の町プロジェクト」活動計画の発表（愛宕小学区）

子供たちを心豊かに育むためには、家庭・学校・地域の協力が必要である。中でも地域の力を高める一翼を担っているのが、岡崎青年会議所（岡崎JC）である。

社団法人岡崎青年会議所は、「地域社会の発展に寄与する」ことを目的として、一九六一年に設立された。二〇〇一年からは、「おかざきの未来は、私たち青年が切り拓いていく」を基本理念に、岡崎JCアクションプランに取り組んでいる。これは、「教育問題」「環境問題」「まちの魅力づくり」の三つを政策の柱としている。そして、その実現に向け小学校や地域に働きかけると共に、物的人的支援を行っている。

これまで奥殿小学区では、家庭や地域の約束を看板にして設置したり、村相撲を復活させたりして、地域共育（教育）を行ってきた。緑丘小学区においては生ごみを堆肥化し、その肥料を生かした栗収穫という活動を行った。そして、愛宕小学区では、「あたご夢の町プロジェクト」と題して、水・花・人の三グループに分かれ、それぞれ暮らしやすいまちづくりを実践してきた。

二十歳から四十歳までの青年実業家が、岡崎について真剣に考え、より明るい豊かな我が町を目指し、日々活動している。共に手を携え、未来の岡崎へと歩んでいきたい。

## 教育

### 愛宕小学区



▲ 町の人が休むためのベンチ作り



▲ 歩道橋の清掃活動

環境

緑丘小学区



▲ 野菜くずから作った肥料を栗畑に散布



▲ 栗の収穫



▲ 地域から出た生ごみを資源に

岡崎JCアクションプランの活動内容

	2001年	2002年	2003年	2004～05年
教育	子供を共に育てるための大人の意識改革。あいさつ運動を通して。	地域と子供の絆を育む活動。「僕らのまちみこし制作」(梅園・小豆坂小学区など)	岡崎の子供は岡崎で育てる。「家庭・地域の約束」(奥殿小学区)	子供たちが自分の町を愛するための活動。「あたご夢の町プロジェクト」(愛宕小学区)
環境	農薬を使わない「アイガモ農法」の実践。(井田小学区など)	伊賀川浄化のための近隣住民との活動。	自然体感事業。(島での星観察・スナメリウォッチングなど)	生ごみの堆肥化から栗の収穫まで。(緑丘小学区)
まちの魅力	「株式会社岡崎城公園構想」の市への提案。	自分の住むまち(「さとまち」)をこよなく愛するための活動。	子供による地域ガイドの実施。(藤川小学区)	地域の歴史をひも解き、村相撲を復活。(奥殿小学区)

まちの魅力

奥殿小学区



▲ 土俵作り



▲ 地域の約束看板の設置

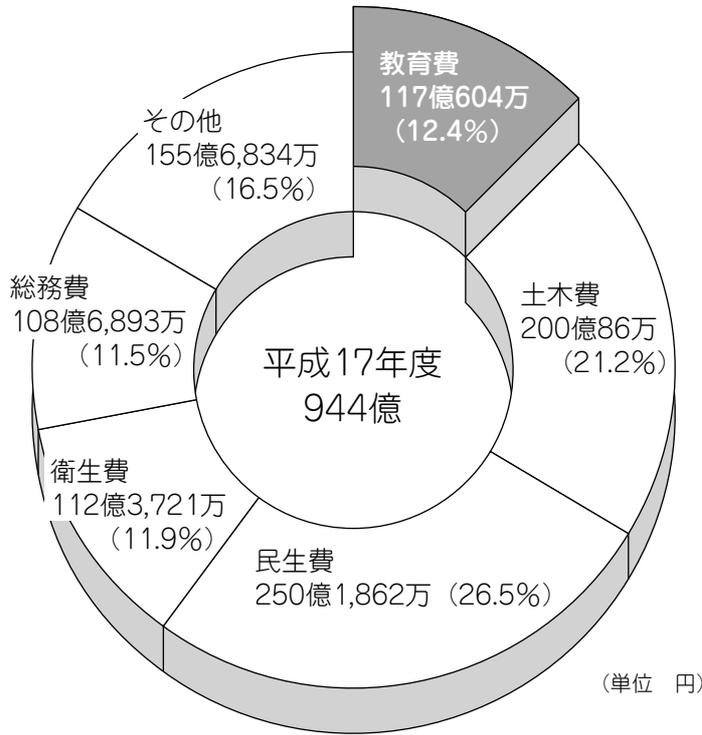
▲ 復活した村相撲大会

教育



▲ OC委員会での話し合い

〈一般会計予算〉



文化の薫る  
人間性豊かなまちづくり

平成十七年度  
岡崎市の教育予算

◆平成17年度の特徴◆

小中学校施設の整備	
校舎増築	小学校 1校
校舎屋上改修	小学校 1校
屋内運動場改築	中学校 2校、小学校 2校
運動場整備	中学校 1校
プール改築	小学校 1校
プール本体改修	小学校 1校
プールサイド改修	中学校 1校、小学校 1校
便所改修	中学校 1校、小学校 1校
校内LAN整備	中学校 2校、小学校 1校
インターホン改修	小学校 19校
教室照明改修	中学校 3校、小学校 5校
門扉整備	中学校 18校、小学校 8校



▲校舎耐震補強事業 平成16年度完成 (緑丘小学校)

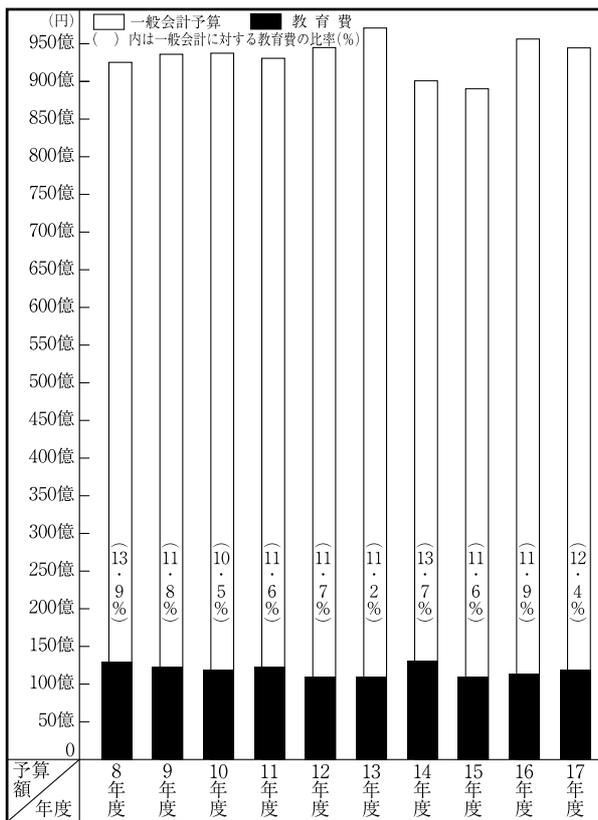


▲屋内運動場改築事業 平成16年度完成 (大樹寺小学校)

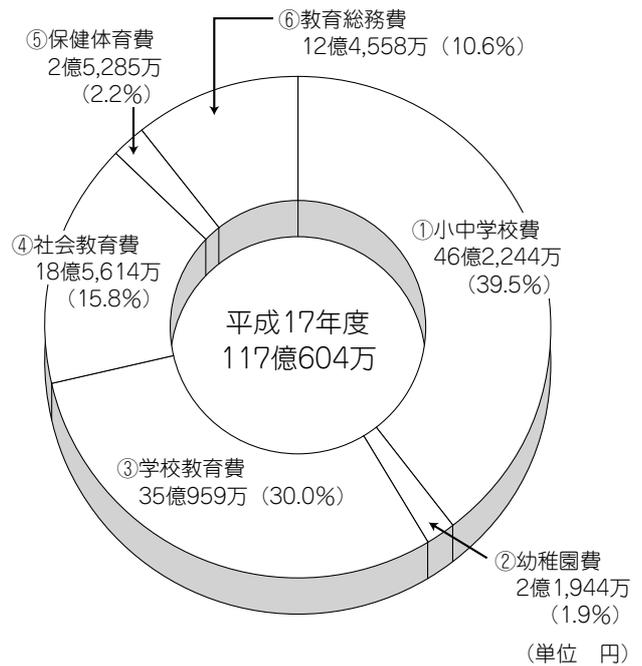


▲校舎改築事業 平成16年度完成 (梅園小学校)

◆ 一般会計予算と教育費の推移

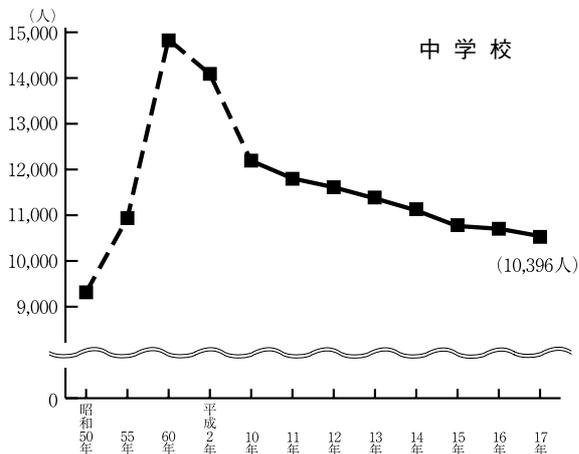
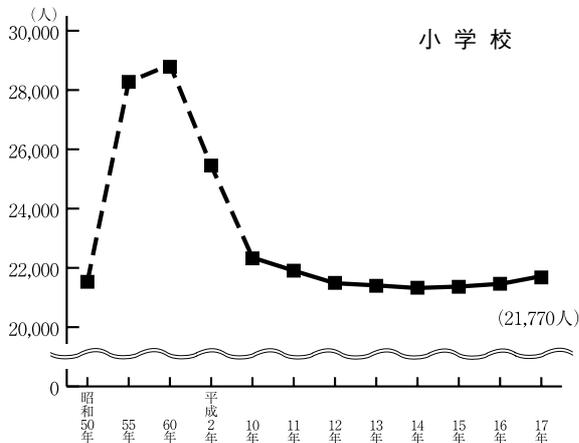


〈教育費の内訳〉



◆ 平成17年度のあらまし ◆

◆ 児童、生徒数の推移 (数字は毎年5月1日現在)



- ①小中学校費
  - ・校舎増築 (井田小)
  - ・校舎屋上改修 (岡崎小)
  - ・屋内運動場改築 (井田小・城北中・南中)
  - ・運動場整備 (六ツ美北中)
  - ・プール改築 (六ツ美南部小)
  - ・プール本体改修 (美合小)
  - ・プールサイド改修 (藤川小・北中)
  - ・便所改修 (根石小・葵中)
  - ・校内LAN整備 (矢南小・城北中・六北中)
  - ・インターホン改修 (小学校19校)
  - ・教室照明改修 (小学校5校・中学校3校)
  - ・門扉整備 (小学校18校・中学校8校)
  - ・愛知万博見学交通費等補助金
- ②幼稚園費
  - ・幼稚園の管理運営
- ③学校教育費
  - ・行事開催事業委託及び指導研修
  - ・教育の振興, 研究助成
  - ・児童生徒の健康保持
  - ・小中学校各種スポーツ大会開催
  - ・北部学校給食センター建設 (17・18)
- ④社会教育費
  - ・岡崎市民芸術文化行事開催事業
  - ・図書館の管理運営
  - ・視聴覚ライブラリーの管理運営
  - ・教材予約システム整備
  - ・少年自然の家の管理運営
  - ・生涯学習事業
  - ・社会教育学級事業
  - ・市民センター施設改修
  - ・指定文化財保存事業費補助金
  - ・悠紀斎田お田植祭用地移設
- ⑤保健体育費
  - ・体育振興事業
  - ・スポーツ開放用屋外トイレ設置
- ⑥教育総務費
  - ・私立高校授業料補助金
  - ・私立幼稚園就園奨励費補助金
  - ・奨学資金支給, 貸付事業



● 教育最新情報

○学力の向上を目指して

新学習指導要領の実施から、三年が過ぎ、文部科学省は、四月二十二日に平成十五年度小中学校教育課程実施状況調査の結果を公表した。文部科学省の分析から

前回十三年度調査と比較し、同一問題に関して、大半の教科において通過率が上がり、無解答率は下回る。国語の記述式は下回る。という分析結果のポイントが示された。

各教科ごとの課題については、【資料1】のとおりである。

今回の調査における各教科の課題

【資料1】  
文部科学省

国語

- ・場面に応じて立場を明らかにし考えを書くこと
・筆者の表現の方法や工夫を評価すること
・条件や目的に応じ、考えを相手に伝えること

社会

- ・統計資料の読み取り・活用や自分の考えの表現
・歴史の流れや基本的な事象、概念の理解
・世界的視野からみた日本の自然環境の理解

算数・数学

- ・計算、数量関係の意味を理解すること
・考えや推論の過程を数学的に表現すること
・日常の事象と算数・数学とを関連付けること

理科

- ・観察・実験を通じた科学的な思考
・グラフの作成等の観察・実験に関する技能・表現
・学習内容相互の関連付けを図った理解

英語

- ・話しかけに対して意味を捉えて応答すること
・情報を整理したり、対話の流れを理解して読むこと
・与えられたトピックについて、内容を考え、まとめた英語で表現すること

本市の取組

国の動向を受けて、本市においても、昨年度これに準じて教育課程実施状況の調査を行った。対象は、小学校五年生と、中学校二年生の約二千人である。現在、教育課程第一研究委員会の委員を中心に、全国の通過率との比較をしながら、教科ごと、観点別により、無解答率は下回る。という分析結果のポイントが示された。

「岡崎スタンダード作成」へ

今年度は、岡崎の子供の確かな学力の向上を目指し、「岡崎スタンダード(仮称)」の作成を計画している。各学校が時間を十分かけて取り組む「重点指導項目」及び学習指導要領を超えて学習する「発展指導項目」について本市の基準を定め、学習指導方針の根幹、即ち、学習指導要領の岡崎版と考えている。

これまでに作成してきた「年間学習指導計画」や「基礎学力向上教材」との整合性をつけながら、各学校の担当者の指導方針が明確になるように配慮したいと考える。

● 小・中の一級免許取得

免許法改正により、二種免許状のみの教員については、一級免許状の取得義務が課せられたこともあり、単位修得に高い関心が寄せられている。現在、隣接校種(小学校教員なら幼稚園と中学校)の免許取得においても、優遇措置がとられているので、ぜひ、小・中の一級免許取得するようにしてほしい。

免許状の種類は、多種あるが、皆さんが主として有しているのは、「教諭普通免許状」の「専修」「二種」「二種」の三段階である。大学院・大学・短大で所定の単位を修得する方法と、認定講習等で単位を修得して上進する方法がある。

○ 免許状の申請

免許状の申請には、主に次の四つが挙げられる。

- ① 上位免許状の申請
② 他教科の免許状の申請
③ 特殊学校免許状の申請
④ 隣接校種の免許状の申請
在職年数に応じて、必要単位数が通減されたり、教育実習が免除されたりしている。

● 教科書展示会の開催

例年、教科書展示会が教科書センターで開催されている。特に今年は、平成十八年度から中学校の全教科の教科書が改訂されるので、多くの教科書会社が出品を予定している。指導要領の一部改正に伴い、発展的な内容がどう扱われているかなど、実際に見て理解を深めておきたい。

なお、場所や日程については次のとおりである。

- ・展示会場(岡崎地区)
岡崎市立図書館
岡崎市明大寺町茶園十一一三

☎ 五一一二二五

・ 展示期間

平成十七年六月十一日(土)・十二日(日)
六月二十九日(水)～七月十日(日)

・ 休館日

六月十三日～二十八日(工事のため臨時休館)・七月四日(月)

※図書館臨時休館中は西三河総合庁舎一階で開催(土・日除く)

・ 展示教科書

検定済みの小学校・中学校・高校の教科書(西三河総合庁舎は小学校・中学校のみ)

●表 彰

- ◆第十七回管楽器個人・重奏コンテスト本大会
  - ・中学校重奏の部
    - クラリネット八重奏
    - 優良賞 岩津中学校
    - サクソフォン四重奏
    - 優良賞 竜海中学校
  - ・中学校個人の部
    - トランペット独奏
    - 優良賞 竜海中 藤野智世
- ◆第十二回県ヴォーカル・アンサンブルコンテスト
  - 銀賞 六ツ美北中学校
- ◆ナゴヤ・チャリティーマラソンフェスティバル車椅子部門
  - 準優勝 梅園小 鈴木良美
- ◆平成十七年度県赤十字指導者協議会 金色有功賞
  - ・団体（二十年以上の実績）
    - 藤川小・岡崎小・広幡小・井田小・六美中小・岩津中
  - ・個人（二十年以上の実績）
    - 金子一（小豆坂小）・堺正司（葵中）・志賀琴人（竜海中）・主井誠司（東海中）・加藤政幸（矢作中）
- ◆西三春季陸上競技大会
  - ・男子走り幅跳び
    - 優勝 岩津中 鈴木 雄貴
  - ・女子走り幅跳び
    - 優勝 竜南中 米倉 由惟
  - ・男子三千M
    - 優勝 竜南中 市川宗一朗

●小中学校のようす

平成十七年度岡崎市内の小中学校の概要がまとまった。五月一日現在の学校や学級数、児童・生徒と教職員の数を表に示した。

●学校・学級の規模（市内平均）

	小学校	中学校
1校当たり児童・生徒数	518人	578人
1校当たり学級数	17学級	17学級
1学級当たり児童・生徒数	30人	33人

昨年度から、愛知県内の小学校一年生の学級が、三十五人以下になり、岡崎市においては、次の十三校がその対象となった。

- 緑丘小、羽根小、竜美丘小
- 連尺小、広幡小、井田小
- 福岡小、大樹寺小、岩津小
- 城南小、矢作東小
- 矢作北小、矢作南小

●学年別児童・生徒数（人）

学年	小学校						中学校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
男	1,932	1,858	1,824	1,826	1,861	1,814	1,748	1,784	1,792
女	1,793	1,771	1,776	1,755	1,772	1,788	1,668	1,701	1,703
計	3,725	3,629	3,600	3,581	3,633	3,602	3,416	3,485	3,495

●児童・生徒・教職員数

区分	学校数 (校)	学級 〈特殊〉 (学級)	児童・生徒 (人)			校長・教職員(人) (非常勤講師を含む)			養護教員 (人)		事務職員 (人)		栄養職員 (人)
			男	女	計	男	女	計	県	市	県	県	
			小学校	42	741<60>	11,115	10,655	21,770	433	645	1,078	44	45
中学校	18	311<27>	5,324	5,072	10,396	379	275	654	22	25	2	2	
合計	60	1,052<87>	16,439	15,727	32,166	812	920	1,732	66	70	2	11	
昨年度合計	60	1,049<86>	16,302	15,701	32,003	831	918	1,749	66	70	3	11	

●芸術鑑賞会

感性を育む心の教育推進の一環として、本年度も芸術鑑賞会を開催する。

本年度は、大冒険舞台劇「ハックルベリー・フィン」を予定している。「トム・ソーヤの冒険」の続編として書かれたこの作品は、文豪ヘミングウェイがアメリカ文学史上最高傑作と評したマーク・トゥエイン作の冒険小説である。一八〇〇年代のアメリカを舞台に愛と自由を求めて旅立つ主人公ハックの心の軌跡を通して、真の自由とは何かを問う冒険活劇である。

小学校全学年を対象に、親子での参加を募っていくので、多くの子供が楽しめるよう、積極的な呼びかけを期待する。

・日時 八月十日（水）

午前の部  
十時～十一時四十分

午後の部  
十四時～十五時四十分

・場所 岡崎市民会館  
・演題 「ハックルベリー・フィン」

・カ  
ツ  
ト  
東  
海  
中  
土  
井  
誠  
司

## 学校林活動

(昭和59年)

写真提供：常磐南小学校



都市化の進展に伴い、自然保護や自然体験に対する関心が高まってきた。市内の様々な学校で、学校林や学校周辺の森を舞台に、動植物の観察や愛鳥活動など多彩な活動が展開されている。常磐南小学校は昭和十九年、岩中町内の私有林を無償で貸与していただいた。それ以来、学区民、児童、職員の手で、スギ、ヒノキ、マツ等の植樹、枝打ち、下草刈りなどを行ってきた。そして、昭和五十八年、全国学校林活動コンクールで農林水産大臣賞を受賞した後も、その活動は続けられている。

## この本を

- \*日本のこころの教育 境野 勝悟 ￥1200  
致知出版社
- \*これだけは知っておきたい個人情報保護 岡村 久道 ￥525  
日本経済新聞社
- \*子どもと教師が育つ教室 前田 勝洋 ￥1600  
学事出版
- \*だからあなたも生きぬいて 大平 光代 ￥1470  
講談社

\*青雲の空はるか 鈴木 長義 ￥1890  
文芸社  
小原和紙工芸を芸術の域にまで高めた藤井達吉と藤井達吉五人衆。この1冊を読むとその全容がよく分かる。私自身、ホームページ上に連載されていたときからの愛読者であり、一冊の本にまとめられ、誠にうれしい。ガンを克服し、一冊の本にまとめあげた著者鈴木長義氏の労苦に頭が下がる。小原和紙工芸作家加納俊治先生からエネルギーをいただいたのであろうか。  
中表紙にある加納俊治先生の5作品が、実に見事である。この本の内容だけでなく、小原和紙工芸のすばらしさをも物語っている。

大通りを若者がデモ行進。中国や韓国で相次いで反日運動が起こった。国と国との溝を埋めるためには、相手の気持ちを敬い、理解し合うために様々な方向から考え、話し合うことが必要ではないだろうか。そして国際理解教育こそが、真の国際社会を作るための基礎であろう。

シソの葉がもつ独特の香りには強い防腐力がある。その力を生かし、食中毒などを防ぐために様々な料理に用いられている。梅雨のじめじめした時期が過ぎると、今年も夏がやってくる。体調管理をしっかりと行い、これからやってくる暑い季節を乗り切っていこう。

## シオ スア

「愛・地球博」を県下の小中学生が連日のように見学している。企業館が示す最先端の科学に驚き、またそれが自然環境と共存しようと努力している姿に感動した。明日を担う子供たちがこの見学を通して、よい刺激を受けて未来に生かす礎になればと願う。

スタートから四十五年。地域社会の発展のため岡崎青年会議所の活動は脈々と引き継がれている。二十代三十代の若き経営者たちが、自身も仕事を抱える中、理想と情熱を持ってまちづくりに取り組んでいる。未来の岡崎について熱く語る姿に、明るい明日を見た気がした。